

2019 年度 分野別計画進捗等報告書		体系番号
		04010101

1.計画名称

農業振興ビジョン

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	順調	説明	認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業と農業研修生に対する研修費補助事業を行っているが機械補助は、毎年、予算を上回る申請があり補正予算で対応をしている。
今後の重点化施策番号	1	説明	集落営農組織については新規組織の設立に併せ、今ある組織の充実と維持継続、法人化も含めた支援が必要である。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	農業経営体の確保・育成	順調	認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業と農業研修生に対する研修費補助事業を行っている。機械補助は、予算を上回る申請があり補正予算対応をした。新聞報道にも取り上げられ、農業関係者から高い評価を得ている。	集落営農組織の設立に向けて1地区から相談があり、説明も行ったが、設立はされなかった。目的が明確でなければ組織の設立は困難である。	認定農業者の機械補助や研修生に対する研修費補助は、次年度も継続していく。次年度は事業要望を早期に行い補正対応とならないようにする。集落営農は新規設立を目指すよりも今ある組織の継続及び発展に力を入れていく段階に来ている。
2	農業生産力の向上	順調	認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業を行うことで、経営体の確保育成と共に農業生産力の向上に対しても支援が行っている。各関係機関からの評価も非常に高い	小規模農家等に対する支援事業として、取り組んでいるJAの農機レンタル事業の支援以外に今年度は生分解性マルチへの補助を行う。省力化と環境への配慮が見込まれる。	小規模農家(兼業農家、自給的農家等)へのヒアリングを行い、必要としている支援事業を検討する。
3	優良農地の保全と活用	おおむね順調	用水路等の施設の改修や改良の要望は予算以上にあるため、優先順位をつけて、順次対応している。湿田対策は補助金制度を創設し、2.7haの湿田を解消した。鳥獣被害対策事業では獣害防護柵沿と農地の山林の間に緩衝帯の設置を0.31haと防護柵の設置2か所(北大塩・笹原)を行った。	用水路等の施設の改修や改良の要望は老朽化が進み年々増えているため、予算の範囲内で事業実施は困難な状況にある。個人が設置した電気柵や防除ネット等の購入費用一部補助を検討する。	湿田対策補助金利用者が増えるよう、PRの促進に努める。電気柵や防除ネット等の購入費用一部補助を既存の制度を見直しの検討。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

主な意見		市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		

5.添付資料

別紙「施策評価シート」